

図書館だより

こんな時だからこそ、本と過ごそう！



令和2年5月

大洲農業高校図書委員会

大農図書館の使い方

- * 昼休みと放課後（16時45分まで）利用できます。
- * 図書館の本（品ぞろえ豊富です）を自由に読みましょう。
- * 気になる本は、ぜひ借りて帰ってじっくり読んでください。
自分の貸出カードに必要事項を記入し、カードと本をカウンターにいる図書委員に出して手続きをしてください。1週間、借りることができます。
- * 「朝読書で読む本がない。」という人、ぜひ来てください。課題研究や実習の調べ物にも、図書館の本が力を発揮します。
- * 借りた本は、返却日（貸出日から1週間後）までに図書館に持ってきて、返却手続きをとって返してください。

図書館でお待ちしています



大農図書館の主、司書の谷本恵美子先生です。
皆さんの生まれる前から大農図書館にお勤めです。
本に関するご相談、ご要望、何でもどうぞ。
図書委員と一緒に、図書館でお待ちしています。

図書委員会 今年度の目標

「図書館に行こう！本を借りよう！」

目標は、図書貸出1人10冊です。昨年度は、1人11.5冊を達成しました！

本の紹介 ～話題の本が、たくさんそろっています～

「全国書店員が選んだいちばん売りたい本2020年本屋大賞」ノミネート作品です。



『medium 霊媒探偵城塚翡翠』
相沢沙呼（講談社）



『ライオンのおやつ』
小川 系（ポプラ社）



『ムゲンのi』
知念実希人（双葉社）



『はたらく細胞』 清水茜（講談社）

インフルエンザや花粉症などの時、私たちの体内では一体何が起きているのでしょうか。侵入してきたウイルスや細菌と戦うなど、私たちの体内で働き活躍する細胞。その細胞が人として描かれている漫画です。楽しみながら学べて、自分の体を大切にしようという気持ちになります。

本の言葉

「多様性は、うんざりするほど大変だし、めんどくさいけど、無知を減らすからいいことなんだと母ちゃんは思う。」

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』
ブレイディみかこ（新潮社）



「どう思うのかは
自由だけど
それを伝えたとき
相手がどう思うのか
考えたほうがいい」

『そのままがいい 100万いいね！を集めた176の言葉』
田口久人（ディスカヴァー・トゥエンティワン）